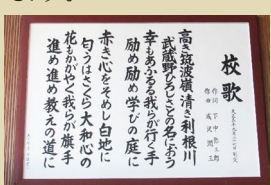


## 100年に渡り、歌声が響き、 歌い継がれる校歌

幸手市立幸手小学校

本校は2月1日で147周年を迎えました。そこで、昭和14年9月1日に2か年の歳月をかけ、当時の幸手尋常高等小学校黒田金五郎校長(第17代)をはじめ7名の沿革誌委員を務めた訓導(小学校教諭の旧称)によりまとめられた学校沿革誌から、本校の校歌の歴史を振り返ります。

本校の校歌は、大正4年8月3日埼玉県師範学校(現在の埼玉大学教育学部)に校歌用作詞作曲を依頼し、同年10月5日に校歌用歌詞、12月21日に校歌用楽譜ができました。



▲体育館に掲額の校歌

翌大正5年1月10日に校歌の認可を文部省に申請し、同年9月27日に校歌として認可されました。



▲大正10年頃の校舎

校歌の歌詞には、故郷(くに)の自然の恵み(心と物)、豊かさに感謝しながら、大きく育てて欲しいとの願いが込められています。



▲6年生による校歌紹介

これまで、15,943名にも上る卒業生を輩出し、各界各層で活躍しています。これからも、歌い継がれる校歌と共に、迎える新しい時代を担う子ども達の教育のために教職員一丸となって尽力してまいります。

## 叙勲受章おめでとうございます



◇瑞宝双光章  
高木 健治氏(中1丁目)

氏は、英語の教諭として幸手中学校をはじめ、市内外の学校で教鞭をとられた後、宝珠花小学校教頭や栗橋南小学校長を務められるなど、長年にわたり子どもたちの健全育成のためにご尽力されました。



### 郷土資料館 「御殿飾り雛の飾りつけ」

2月10日(日)郷土資料館で、ボランティアのみならずのご協力により、御殿飾り雛の飾りつけが行われました。

大正9年と書かれた箱から、ひとつずつそっと取り出して、丁寧に飾りつけを行いました。豪華な御殿飾り雛は、3月24日(日)までご覧いただけます。



フォトニュース



### 幸手市国際交流協会 「外国人を対象とした茶道・生け花・琴体験会」

1月27日(日)中央公民館で、幸手市国際交流協会主催の「茶道・生け花・琴体験会」が行われました。着物を着た参加者は、先生方の指導のもと、茶道に生け花、琴を体験していきます。参加者は「(茶道)自分で点てたお茶がおいしく、3杯飲みました!」、「(生け花)2回目ですが、楽しくお花を生けることができました!」、「(琴)むずかしかったけど、さくら さくらのメロディが良かった!」と話し、体験会はとても賑わっていました。



### 郷土資料館 「機織り体験へGO!!」(毎月第2・第4土曜日/要予約 ☎0480(47)2521)

1月26日(土)郷土資料館で、体験学習ボランティアさん指導のもと、機織り体験が行われました。世界に一つの手作りコースターを作成する体験で、実際に機織りを使いタテ糸を上下に交代させながらヨコ糸をタテ糸の間に入れ、パタパタと織ることを繰り返す作業に、参加者は集中。出来上がったコースターを手に取り、「織り上がりの模様が想像もつかず、とっても楽しい!」と話していました。

### 燎原短歌会

植えくれし  
君の石路庭を占め  
蝶の舞いおり  
魂かも知れず  
小澤六子・中二  
音のなく  
剥がれゆくもの裡にあり  
春のかすみの如し  
記憶は  
古賀富美江・中三  
空いっぱい  
翼を上げ夕陽に向かう  
大驚いつか  
一片の雲  
澤田俊子・緑台一  
ろう梅に必死と  
迫るひよどりに  
してやられたり  
空理の平和  
川嶋忠雄・杉戸町  
古書店の若き二代目  
冬日背に  
はたきかけをり  
百円本に  
新井佐和江・戸島  
そこはかと  
淡雪のごと山裾に  
咲いていじらし  
節分草は  
野口と志子・東五

### 若草俳句会

「日向ぼこ・枯野」  
椅子ゆりて  
夢見心地や日向ぼこ  
鈴木佐一・久喜市栗橋東  
まぶた閉じ  
赤き世見てる日向ぼこ  
久保田美佐子・幸手市中  
夕映えの  
仙石原の大枯野  
富澤美・幸手市下宇和田  
渡良瀬の  
気球いっせい枯野かな  
知久和子・五霞町川妻  
夫の居る  
養護ホームや日向ぼこ  
木下かつゑ・五霞町元栗橋  
二人居て  
ぬくし余生や日向ぼこ  
小林筑山・幸手市東  
青むまで  
夢を預けて枯野原  
西澤次夫・幸手市千塚

